

鴨川ふるさと会だより

— 第25号 —

鴨川ふるさと会発行
事務局：〒296-8601

千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所経営企画部まちづくり推進課内）

TEL：04-7093-7828

長谷川 孝夫 市長

就任のあいさつ



去る3月13日より、再び鴨川市政を担わせていただくことになりました。長谷川孝夫でございます。

鴨川ふるさと会の皆様におかれましては、まちづくりへの貴重なご意見・ご提言をはじめ、多くの会員の皆様から寄せられる「ふるさと納税」や、「ふるさと大使」としての本市のPRなど、様々な形により、ふるさと鴨川への想いを頂戴しておりますこと、厚く御礼申し上げます。

私は、市政を離れていた4年間、多くの市民、事業者、関係者の皆様と対話を重ねて参りました。この対話こそが、私の財産であり、市政運営の原動力であります。予測が難しいコロナ後の社

会にあって、希望に満ちた新しい鴨川を誕生させたいと考えております。さらに、市民誰もが物心両面の「豊かさ」を実感できる鴨川を目指していきます。

本市は、言うまでもなく、多様で豊かな観光資源と農水産資源、充実したスポーツ・福祉施設と先進的医療、保幼小中一貫教育、伝統ある文化と歴史を有するまちです。これらを活かすことで自立と活力あるまちができると確信しております。

孔子の教えの中で、「信無くば立たず」という言葉があります。これは、国民からの信頼が得られなければ国家は成り立たないという意味があります。私はこの孔子の言葉をモットーに、市民皆様の信頼づくりを一番に考え、行動していきます。

そのためにも、市民と共に働き、汗を流す、「市民が主役」の精神を貫いていきます。
・暮らしを「しっかり」守る
・みんなの思いを「じっくり」聞く

・鴨川の未来を「はっきり」示す
・将来の人材を「がっちり」育てる

この4つの方針を基本に、今後、皆様と話し合いながら、市民の暮らし、尊い命、財産を守る仕組みを進めることをお約束します。

ふるさと鴨川を再生し、すべての産業の強化により、「活力あふれる健やか交流のまち」を目指し、誰もが「夢」を持ち、そして「豊かさ」を実感できるまちづくりを進めていきます。

鴨川ふるさと会の皆様におかれましては、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

プロフィール

氏名	長谷川 孝夫 (72歳)
居住地	鴨川市栗斗
生年月日	昭和23年12月9日
血液型	A型
略歴	鋸南町立佐久間小学校校長、県教育庁義務教育課長、参事兼教育総務課長、鴨川市教育長、鴨川市長(1期)
趣味	読書、スポーツ
好きな言葉	「我以外皆我師」、「信無くば立たず」

平川 潔 副市長



本年4月1日から、副市長に就任を致しました平川でございます。

ふるさと会の皆様には日ごろからお世話になりありがとうございます。ふるさと鴨川の発展に向け、今後ともお力添えをお願いいたします。

鈴木 希彦 教育長



本年4月1日、教育長に就任しました。未来ある子ども達に、また充実した生活を営む皆様に、魅力ある学びを提供できますよう全力で取り組みます。引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

フップ オランジェ!! (がんばれ!オランダ!!)
**FIFA女子ランク4位 女子サッカー
 オランダ代表が鴨川にやってきた!**

一般社団法人ウエルネススポーツ鴨川

専務理事 岡野 大和

■女子サッカーオランダ代表
 東京五輪事前キャンプを実施
 7月7日から17日にかけて、女子サッカーオランダ代表の東京五輪事前キャンプが行われ、約40名の選手団が本市に滞在し、トレーニングに励みました。オランダ代表は近年急成長を遂げ、2019年の女子W杯フランス大会では準優勝、FIFA女子ランク4位の金メダル候補の強豪です。



7月10日の公開練習。練習前の激励会には市民約250人が集まり、市長、市議会副議長、オルカなでしこサッカースクール生から、メッセージを送るとともに、市内小中学生が心を込めて折ったチームカラーのオレンジ色の千羽鶴や寄せ書き入りのオランダ国旗、萬祝デザインのマスクが贈呈され、選手も大感動でした。

7月14日には非公開ながら、カナダ代表(今大会で金メダルを獲得)を招待し、国際審判員の主審の下、国際Aマッチ級のビッグマッチが行われました。

■2016年からはじまった事前キャンプ誘致

2014年創設のオルカ鴨川FCにより地域の女子サッカーへの熱が高まる中、より一層の盛り上げを図るべく、2016年、誘致が始まりました。暗黒模索の中、2018年

にはオランダサッカー協会に突撃してのプレッセンを敢行。当時オランダは五輪出場権を得ておらず、また強豪国のため、誘致実現の可能性は決して高くないものでしたが、熱意と誠意は十分に伝わった様子でした。2019年、五輪出場権を獲得。再渡欧して、信頼関係を深めました。



2020年1月から2月に、監督・コーチが相次いで本市を視察。事前キャンプ実施が内定しました。

新型コロナウイルス感染拡大により、五輪は1年延期となりましたが、独自に培った直接の関係が活き、準備から実施までスムーズに進行。陽性者を選手団、市民ともに一人も出すことなく、成功裏に収められました。

■選手たちも感動した鴨川の「お・も・て・な・し」

コロナ禍で多くの制約がある中、精一杯のホスピタリティを尽くしました。ホテルには日本文化を体感できる「縁日コーナー」を開設。選手団全員が浴衣を纏っての「YUKATA NIGHT」、運動施設にはオランダ語の激励メッセージを記した巨大横断幕や幟旗の掲出。数々のもてなしに選手も大感激。オランダメディアでも報道されました。

競技場の洋芝への評価も高く、サリーナ監督をはじめ、選手・コーチから「こんなに良いピッチで練習したことはない」と絶賛されました。



東京五輪、オランダはグループステージを1位で通過したものの、準々決勝で世界ランク1位のアメリカと対戦。2-2のまま延長戦・PK戦までもつれ込む接戦の末、惜しくも敗退しました。しかしながら、事前キャンプはゴールではなくスタートです。関係を深化させ、女子サッカーをはじめとする交流を継続し、将来、鴨川がオランダへの「窓口」になることを目指します。

寄稿者



(一社)ウエルネススポーツ鴨川 専務理事 岡野 大和氏

▼(一社)ウエルネススポーツ鴨川市からの委託を受けて今回の合宿誘致を行ってきたほか、ブライインドサッカー女子日本代表の合宿の誘致や、「サイクルロゲイニング」、「泥リンピック」などのイベントを企画運営。「ウエルネス人々の心身の健康×地域社会の健康」というコンセプトのもと、様々な活動を行っている。



ウエルネススポーツ 鴨川 HP

新市立国保病院が 開院しました



新市立国保病院が、令和3年4月26日に開院、5月1日から外来診療を開始しました。

施設は、鉄筋コンクリート一部鉄骨造り3階建て、延床面積5112・15平方メートル。1階は外来診療室を主に、検査や手術・処置室、リハビリ室、地域包括ケアセンターなどが設けられています。

2・3階は病棟となり、プライバシーや感染症に配慮した個室を基本としています。

新病院は、「災害時に市民を支える」、「これからの公的医療を推進する」、「まちの活性化を支える」、この3つをコンセプトに建てられました。

基本方針である「地域に愛され必要とされる病院」として、これまで以上に親しまれる地域の中核病院を目指します。

施設概要

- 所在地 宮山233番地
- 診療科 内科、小児科、循環器内科、神経内科、整形外科、スポーツ整形外科、眼科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科、禁煙外来、リハビリテーション科、歯科
- 病床数 70床(各階35床)



写真説明

- ① 清潔感のある受付窓口
- ② 陽射しが差し込む開放的なロビー
- ③ 個室を基本とした病床
- ④ 水色と黄色を基調とした明るい診察室



© 浅川 敏



**オルカ鴨川FC
トピックス**

▼オルカ鴨川FC近況
2021シーズンは、小川貴史新監督を迎え、なでしこリーグ1部優勝を目指して戦っております。

今秋から、女子サッカープロリーグ「WEリーグ」が開幕しました。それに伴い、オルカ鴨川FCは、なでしこリーグ1部に所属することになりました。
今シーズンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	伊賀FCくノ一三重	41	17	16	2	2	39	12	+27
2	日体大FIELDS横浜	32	17	10	2	5	21	17	+4
3	スフィーダ世田谷FC	28	17	8	4	5	31	22	+9
4	セレッソ大阪堺レディース	27	17	7	6	4	33	21	+12
5	ニッパツ横浜FCシーガルズ	27	17	7	6	4	28	19	+9
6	愛媛FCレディース	25	17	7	4	6	20	26	-6
7	オルカ鴨川FC	20	17	5	5	7	14	19	-5
8	ASハリマアルビオン	19	17	4	7	6	18	19	-1
9	NGUラブリッジ名古屋	19	17	5	4	8	19	24	-5
10	コノミヤ・スベランツァ大阪高槻	15	17	3	6	8	20	29	-9
11	アンジュヴィオレ広島	14	17	3	5	9	18	37	-19
12	大和シルフィード	11	17	2	5	10	18	34	-16

なでしこリーグ1部順位表(第17節終了時点)

とし、入場制限や声を出しての応援は控え、拍手や太鼓、オルカ名物の鳴子を使用して選手にエールを送っております。開幕戦に敗れ、なかなか勝利を収めることができません。我慢の試合が続きましたが、シーズン途中には、日本代表の経験を持つ吉良知夏選手や鈴木陽選手が加入し、攻撃に厚みが増しました。
オンラインピック期間の中断を経て、なでしこリーグが再開した9月5日の試合では、オルカ鴨川FC初千葉テレビによる生中継放送がありました。入場制限等でスタジアムで応援出来ない中、皆様に試合を届けたい、オルカ鴨川FCを知らない人達にも知ってもらいたい、という気持ちから今回の放送をすることになりました。残念ながら勝利を収めることができず引き分けという結果でしたが、オルカ鴨川FCの魅力が発信できたと思います。

リーグ戦も佳境に入ってきました。第17節終了時点でオルカ鴨川FCは12チーム中7位となっております。今後は1試合1試合が大事になってきます。ユーチューブでライブ中継もしているので、応援をお願いします。皆様の応援が力になります。

いつも応援ありがとうございます。
皆さんの応援を力に勝利のために1試合1試合気持ちを込めて戦い抜きます。また皆様とスタジアムでお会いできることを楽しみにしています。これからも応援よろしくお願いします。



◀正野可菜子キャプテン

いつも応援ありがとうございます。
海の王者シャチのように、躍動感あるプレーを目指して、鴨川の皆さんに勇気や元気を届けたいと思います。今後とも応援よろしくお願います。



◀コメント
小川貴史監督

ふるさぽーと寄附金(ふるさと納税)

本会では、ふるさと鴨川の更なる発展に寄与するため、「ふるさと納税」による積極的な支援を勧奨しています。

■令和2年度の実績

令和2年度の寄附金総額は、**3億7052万8千円**でした。

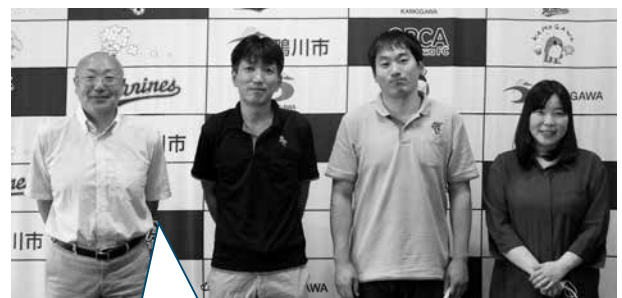
前年度の4億131万4千円と比較すると、3078万6千円の減額となったものの、令和元年台風15号に対する災害支援寄附を除いた寄附金額は、令和2年度3億7025万3千円、令和元年度3億6041万7千円と、983万6千円の増となっております。

■寄附拡充に向けた改善点

寄附者の多様なニーズに対応するため、ポータルサイト「ANAのふるさと納税」でのふるさと納税受付を開始しました。

事務局メンバーを紹介します!

▼左から、事務局長(まちづくり推進課長)鈴木克己、課長補佐 藤代公貴、政策推進係長 太田吉紀、事務担当 岡本祥子



コロナ禍により、会員の皆様にお会いすることがなかなかできませんが、事務局員一同、ふるさと会のお役に立てるよう邁進してまいります。よろしくお願いいたします。